

令和5年度 事業計画(案)

新型コロナウイルス感染症のまん延から3年あまりを経過した今、長かったトンネルの先に、ようやく光の兆しが見え始めてきました。観光産業では、コロナ禍前に戻り始め、落ち込んでいた景気も緩やかに回復してきております。国や北海道、市町村においては様々な旅行需要喚起策をはじめ、外国人観光客の入国制限の撤廃や海外からの直行便における訪日外国人客の増加、そしてマスク着用の緩和や新型コロナウイルス感染症を5類感染症に引き下げとなることにより、いよいよ観光立国の復活に向けた観光が戻り始めて来ることを期待しております。

北海道においては、ポストコロナを見据えた観光戦略としては、今年度9月にアドベンチャートラベルワールドサミット(ATWS)が北海道で開催することを契機として、北海道を代表するツーリズムとして捉えており、北海道における戦略的な市場開拓、観光誘客促進に繋がる事業として大いに期待しております。

白老町としては、今年度も継続的に白老駅北観光商業ゾーン(ポロトミンタラ)とウポポイ(民族共生象徴空間)周辺の賑わいの創出や観光客の回遊性が、交流人口や観光消費拡大増加への引き続きカギとなります。また、訪日外国人客の本格回復に向けた集中的な取り組みや戦略的な訪日プロモーション事業を展開し、より質の高い観光にシフトしながら、増加を図るために努力してまいります。昨年に続き、JR東日本クルーズTRAIN SUITE四季島が白老駅に停車することや、海ではクルーズ船のつぽん丸が白老港に寄港するなど、新たな訪日外国人客や一般団体客等の相乗効果を期待しております。

当協会も、地域DMOの役割として持続可能な観光の促進に向けた受入環境整備の整備、訪日外国人客の誘客宣伝活動事業に重点を置きながら、引き続き観光地づくりの司令塔になれるよう努力していく所存でありますので、関係団体等のご協力を宜しくお願いいたします。

このことから、本年度は、次の事業を重点目標として取り組みをいたします。

- 観光地域づくり法人(地域DMO)登録制度のガイドラインの改正に伴い、観光地域づくりに向けた持続可能な体制整備の強化を踏まえ、継続的に多様な関係者との合意形成、専門人材の定着・確保、データに基づく明確なコンセプトに基づいた戦略(ブランディング)の策定、その整合性に関する調整や仕組み作り、近隣市町村との広域周遊観光促進や独自の誘客プロモーション活動等を展開していきます。
- 白老駅北観光商業ゾーン(ポロトミンタラ)における指定管理業務を含めた自主事業や観光大型バス駐車場などの収益事業をはじめ、従来より行っている各種収益事業も含めて積極的に事業を展開し、稼ぐ力を引き出し安定的な運営資金の確保を目指すとともに、ウポポイや周辺地域との相乗効果を図りながら観光客の回遊性を高めた観光振興に努力していきます。
- 旅行業登録申請を目指し、より専門的人材を設置し、地域における各事業者等と連携を図りながら、白老発の着地型旅行商品の造成・販売やランドオペレーター業務の実施など地域の実情に応じた旅行等に関するコンシェルジュ機能確立し、白老町ならではの豊かな食・観光資源・特産品等を活かした情報発信(SNSやホームページ)の拠点となるよう努力をしていきます。

【個別事業の概要】

1. 広告宣伝事業

新聞広告や各種の旅行情報誌等の媒体を通じ、白老町の国内での知名度を更に高めるための事業展開を積極的に図るとともに、白老町特有の観光資源の視覚的魅力を訴求するためにも、北海道観光振興機構等による事業への協賛及び独自広告宣伝物の作製、HPやSNS等を活用した情報発信を推進します。

◇取り組みの事業概要

○新聞・雑誌広告	250,000 円
○旅行情報誌掲載事業	100,000 円
○各種観光事業集客広告事業	100,000 円
○誘導案内看板管理事業	292,000 円
○インターネット事業（国内・海外向け）	80,000 円
○ホームページ・SNSサイトPR事業（しらおいナビ）	600,000 円
○観光情報発信機能強化事業（モデルコース作成等）	1,000,000 円

2. 誘客事業

北海道観光振興機構、北海道登別洞爺広域観光圏協議会、登別市白老町観光連絡協議会等が行う誘客事業において広域周遊観光の促進を目指すとともに、白老観光協会が独自に主催する誘客キャンペーンでは、民族共生象徴空間（ウポポイ）や周辺地域施設との連携を強化し、相乗効果を目指した誘客事業を継続し、白老町への誘客及び特産品等の販売PRを促進する事業が図れるような誘客活動を推進します。

◇取り組みの事業概要

○観光客・修学旅行誘客活動事業（道内外・海外他）	500,000 円
--------------------------	-----------

3. 会員指導育成事業

会員と白老観光協会を結ぶ情報手段として会報「かんこう白老」発行を行い情報発信を図ります。

◇取り組みの事業概要

○会報発行「かんこう白老」（年1回）	30,000 円
--------------------	----------

4. まつり・イベント事業への協賛

町内外から多くの人を集めることができる「まつり・イベント」は、コロナの収束を踏まえながら状況を判断し、情報発信においては貴重な機会でもあることから、各種まつり・イベントへ協賛や協力し、ポロトミンタラ（白老駅北観光商業ゾーン）において新しい情報等を案内するとともに町内の各施設へ誘導及び周遊するための事業を推進します。

◇取り組みの事業概要

○第31回白老牛肉まつり	6月（未定）	
○町内活性化イベント（ウポポイ開業3周年）	7月～9月（予定）	200,000 円
○第9回虎杖浜かにたらこ温泉三大まつり	8月（未定）	
○2023 BikeJIN 祭り@北海道・白老	9月 3日（決定）	100,000 円

○第43回登別漁港まつり	9月（未定）
○第33回しらおいチェブ祭	9月（予定）

5. 収益事業管理

民族共生象徴空間（ウポポイ）への来訪者に対する利便性を高める便宜供与のために、公益法人を補完する新たな収益事業の構築を中心とした事業を行います。また、各種収益事業において地域コーディネート機能の役割を中心とした職業体験や白老ねっと商店・ふるさと納税等販売を推進しながら、公益事業の拡大を図るために、効率的な運営を図ります。

◇取り組みの事業概要

○白老ふるさと2000年の森管理業務（指定管理者5カ年）	11,500,000円
○自転車・カヌー貸付事業	150,000円
○ポロト売店・自動販売機設置事業	55,000円
○ワカサギ釣り事業	1,112,000円
○白老ねっと商店事業（インターネット販売）	50,000円
○白老町ふるさとGENKI応援寄附金事業（ふるさと納税）	70,000円
○コーディネーター事業（職業体験・鮭遡上見学等）	50,000円

6. 白老駅北観光商業ゾーン・観光大型バス駐車場事業管理

民族共生象徴空間（ウポポイ）との相乗効果を図りながら、回遊性の向上を目指す拠点施設として、観光インフォメーションセンターの管理業務を取り組み、観光情報等や広域観光特産品販売等を展開し、地域の活性化に繋がるような事業を行い、更には安定的な観光大型バス駐車場管理事業を財源の基盤として、自主事業の拡大及び充実を図るために積極的な運営を図ります。

◇取り組みの事業概要

○白老駅北観光商業ゾーン管理業務（指定管理者5カ年）	76,755,000円
○しらおいチャレンジショップ管理業務	432,000円
○SLポロト号・遊具施設等管理業務	200,000円
○観光大型バス駐車場管理業務	10,658,000円
○自動販売機設置事業	55,000円
○手ぶら観光（手荷物一時預かり）・コインロッカー設置事業	30,000円

7. 観光地域づくり法人（地域DMO）を核とした観光地域づくりに向けた取り組み

本町の観光による地域づくりを推進するために観光地域づくり法人を核とした取り組みや基礎的な役割・機能（観光地域マーケティング・マネジメント）を含めた整備を目指すともに、関係団体との合意形成を有効的に行い、地域DMOを中核とした自主的な「稼ぐ力」の創出を図ります。

◇取り組みの事業概要

○白老まちづくりDMO戦略協議会（4ヶ月1回開催）	
○旅行業取得申請（地域限定）	660,000円
○観光資源推進活動調査費（DMO等）	30,000円
○白老町観光消費動向調査・分析	

8. そ の 他

◇取り組みの事業概要

○虎杖浜温泉観光活性化事業（虎杖浜竹浦観光連合会）	600,000 円
○白老駅舎管理・清掃業務（委託事業）	4,843,000 円
○白老駅臨時改札業務（委託事業）	3,975,000 円
○白老バーガー&ベーグル研究会（事務局）	
○白老レンタサイクル運営協議会（シラヴェロ）（事務局）	
○白老おもてなしガイドセンター（事務局）	

9. 会 議 等

◇主な会議の概要	○通 常 総 会
	○三 役 会
	○理 事 会
	○専 門 委 員 会（特別委員会等）
	○各所属団体会議